

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	平成29年度第5回桜区区民会議
2 会議の開催日時	平成29年12月22日(金) 10時00分～11時30分
3 会議の開催場所	桜区役所4階大会議室
4 出席者名	<p>【委員】岩田委員、榎本委員、 大江委員、岡島委員、小川委員、小澤委員、川上委員、 小山委員、島崎委員、高澤委員、長沢委員、原委員、 福島委員、古屋委員、渡辺委員</p> <p>【事務局】コミュニティ課原田課長、青木課長補佐、 小山主事</p> <p>【運営支援】山口、石川 (エコまちづくりフォーラム(株))</p>
5 欠席者名	飯塚委員、五十嵐委員、市村委員、河野委員、千葉委員
6 議題及び公開又は非公開の別	<p>(議題)</p> <p>(1) テーマの協議・意見交換</p> <p>(2) その他</p> <p>(公開又は非公開の別)</p> <p>公開</p>
7 非公開の理由	
8 傍聴者の数	0人
9 審議した内容	議題について、協議を行った。
10 問合せ先	桜区役所 区民生活部 コミュニティ課 電話番号 048-856-6130
11 その他	

## 平成29年度 第5回桜区区民会議

日時 平成29年12月22日(金)

午前10時～

会場 桜区役所 4階大会議室

### 次 第

1. 開 会
2. 議 事
  - (1) テーマの協議・意見交換
  - (2) その他
3. その他
4. 閉 会

# 1. 本日の会議の概要

進め方は委員のみなさんで決めていきます

**第1回** H29/05/31  
委嘱式  
正副会長の選出

**第2回** H29/07/21  
テーマ選定

**第3回** H29/10/31  
テーマ選定  
テーマの協議 (1)

**第4回** H29/11/21  
テーマの協議  
(その2)

**第5回** H29/12/22  
テーマの協議  
(その3)

**第6回** H30/02/23  
区長報告会

**交流会** H30/03/23  
市民活動ネット  
ワークとの交流会

H30年度へ  
2年目の活動へ

## ■ 前回 [第4回]

・ 前回会議の協議内容を振り返りました。



・ 仮称であった協議テーマ「安全に安心して暮らせるまちづくり」の名称は、「みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり」に決定しました。

・ 「交通安全」について、ポイントを絞って協議を行いました。

・ 最後に結果の確認を行いました。



会議の結果を受けて、三役で次回会議の進め方などを検討しました。

## ■ 今回 [第5回]

・ 前回協議した「みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり」の「交通安全」について確認します。



・ 「みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり」「防災」について、協議を行います。

・ 「課題の確認」～「解決策などの検討」を、今回から1回で行います。

・ 最後に結果の確認を行います。



・ 第6回の区長報告会の概要を確認します。

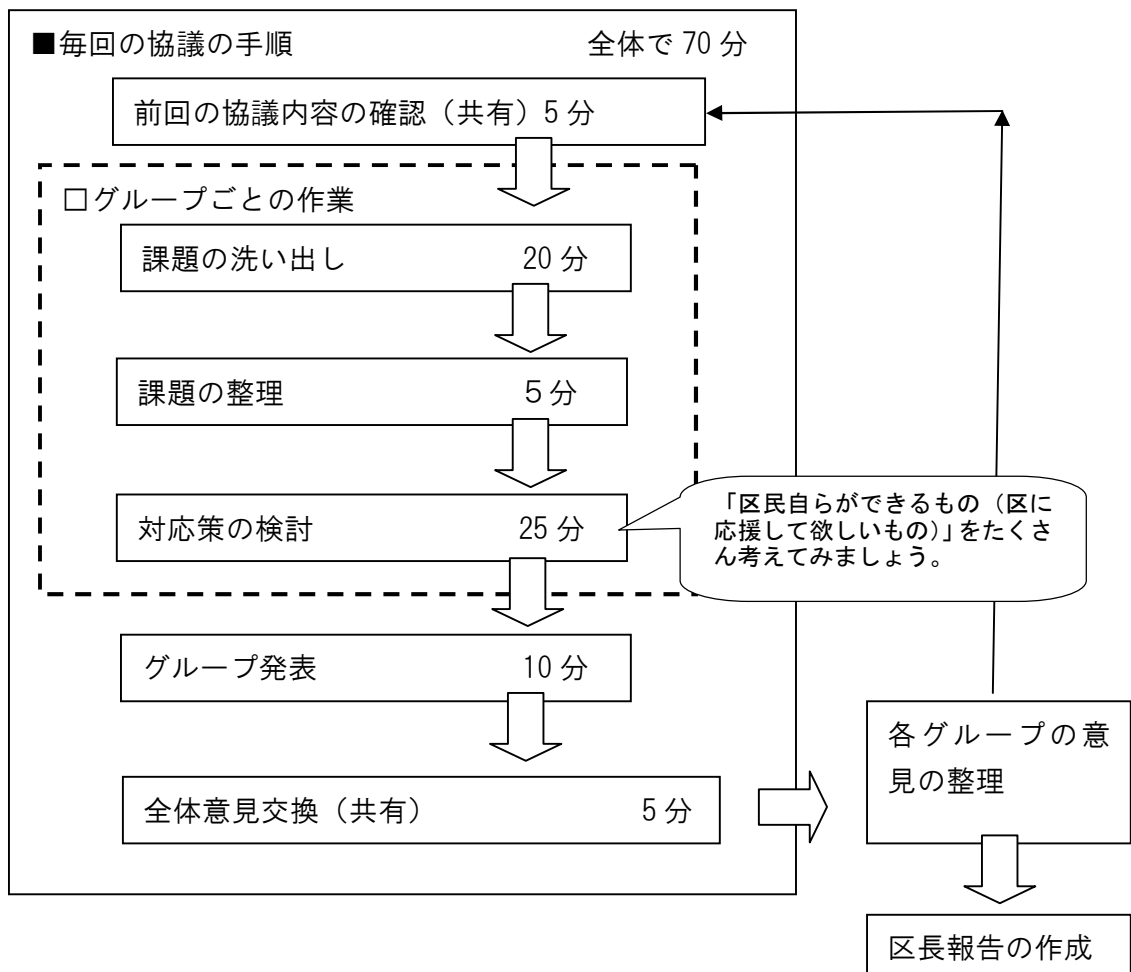
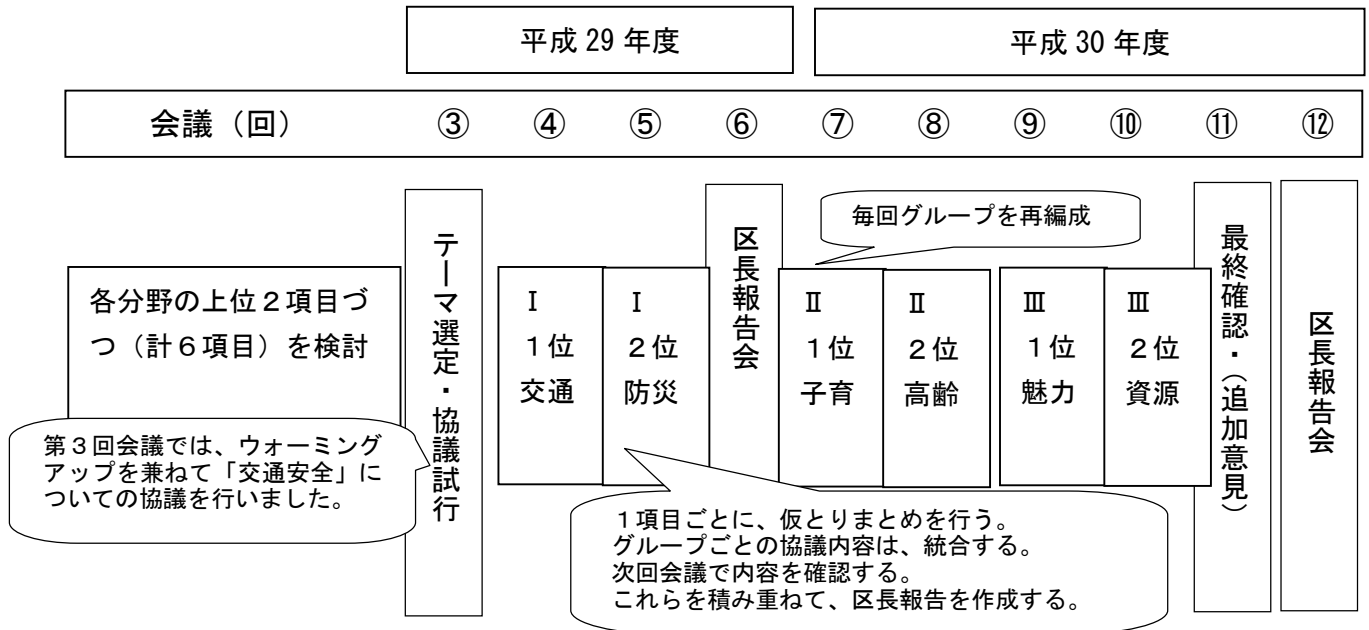


次回は、「区長報告会」の予定です。報告内容については三役会で準備調整を進めます。



## 2. 協議の進め方について

- ・ 1 回の会議に 1 つの項目を協議します。
- ・ 2 グループに分かれ、同じテーマを並行して取り扱います。
- ・ 毎回、グループメンバーの再編成を行います。



### 3. 前回の協議の概要

みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり

交通安全

#### 1-①：交通マナーや意識

##### ■ヒヤリハットマップについて

- ・家庭に貼ったままになってしまうことが多いが、持ち歩けると良い。
- ・情報が多すぎる感じもするので、地区や支部単位のような地域別、歩行者用、自転車用、車用などの対象者別も検討すると良いかもしれない。
- ・一番役に立てて欲しい子どもや高齢者が見やすいものがよい。
- ・A4サイズだけでなく、もっと範囲を大きく広げた「桜区のヒヤリハットマップ」を作ってはどうか。
- ・高齢者にわかりやすく文字を大きく、イラストも入れわかりやすく表示してはどうか。
- ・ヒヤリハットマップに、過去の事故例を入れてはどうか。
- ・酔っ払いが道に飛び出てくることもある。車にもヒヤリハットマップで注意喚起してはどうか。
- ・現地に危険個所を示す目印があるといい。桜区のマスコットなどを利用したオリジナルのマークを作ってはどうか。また公募して子どものセンスを生かしてみたい。
- ・飛び出し注意の看板は効果的だが、夕暮れ時はもっと見やすくしたい。
- ・見通しの悪い樹木、植木の管理をしっかりしたい。
- ・桜区内の人は、道が狭いところに学生が飛び出してくることを、あらかじめ注意してはいる。
- ・「事故現場」と言う看板を立ててはどうか。

##### ■高齢者のマナー

- ・いろんな集いがあるので、そこでPR、講習をこまめにしてはどうか。
- ・高齢者は、運動機能の低下、反射力の低下に気がつかないか、衰えていることを認めたくないようだ。
- ・高齢者に、わかっているしながら斜め横断や自転車の右側通行などのルール違反をする人が多いのは、なるべく楽をしたいという理由からである。これを踏まえて、安全啓発を考える必要がある。
- ・小学生を対象に、重点的に安全教育を行って、将来に期待したい。

## 1-②自転車の利用マナー

### ■法規やマナーを自覚してもらう方法

- ・授業に遅れまいと慌てて走っている大学生の危険な自転車運転がみられるが、大学の構内に注意喚起の看板は少ない。学生に対しての注意喚起は、学内ではあまり行っていないのが現状。
- ・警察も手が足りなく、小さい事故や事件までは手が回らないようだ。
- ・法的な責任をもっと自覚してもらうことが必要。
- ・自転車保険が義務化されるので、登録番号を車体に見えるように貼るなどを励行させられないか。
- ・学生は自転車保険には入っているのだろうか?調べてみたい。
- ・「自転車は左側通行」のステッカーを自転車の前後に貼るなど、安全運転ステッカー作戦を検討してはどうか。
- ・学内の駐輪場に、注意喚起看板を立てることは可能かもしれない。合わせて、ヒヤリハットマップを配布してはどうか。

### ■その他

- ・「ながらスマホ」をやめさせたいが、なかなか難しいと感じている。
- ・ヒヤリハットマップや看板などを、目立たせる工夫が必要。
- ・自転車専用レーンの整備が進んでいるが、まだ部分的だ。
- ・私有地での放置自転車に困っている。
- ・高齢者は視野が狭く危険。
- ・自転車のシェアリングが最近多くなっている。

## 1-③安全確保や整備

### ■自分の身を守る工夫

- ・暗い服装が多く、危ないと感じている。反射材は役に立つし、高齢者に配ると喜ばれる。
- ・傘やカップに貼れるステッカー、光る手袋など、区民参加型で安全グッズアイデアを募集したい。特に小学生に考えてもらうのはどうか。
- ・夕方は自転車や歩行者が車から見えにくいので、高齢者は明るく目立つ色を着た方がよい。
- ・光が反射するウェア、タスキ、ステッカー、腕章などを身に付けるとよい。防犯パトロールのベストを高齢者に贈ると喜ばれる。
- ・ディスカウントスーパーなどで蛍光色のタスキを売っているが、夜間は目立ってよい。

### ■自転車レーンなどについて

- ・自転車もどこを走ってよいか肩身が狭いのが現状で、自転車レーン整備に期待したい。
- ・道路を良くしたい。
- ・自転車レーンも狭いとかえって危険かもしれない。
- ・埼大通りを夜に、自転車で走るのは危険。死亡事故もあった。
- ・自転車レーンを蛍光塗料で塗って夜間に光るようにしてはどうか。

## 1-④高齢者の代替交通手段

### ■日常生活の不便と解決策

- ・自動車や自転車を使えなくなると、一番困るのは買い物だと思う。
- ・代替手段としては配送も考えられるが、出かける楽しみも大切にしたい。
- ・遠くの大型スーパーに頼るだけでなく、近くのお店で買えるような環境も必要。
- ・買い物は宅配が充実してきているが、高齢者は外に出て自分で買い物をすることも大切だ。
- ・「助けて欲しい人」と「助けられる人」を行政でマッチングする仕組みで、お助けグループ作りができるといい。
- ・買い物をマイカーでサポートしてあげるサービスはできないか。

### ■コミュニティバスなどの利用

- ・コミュニティバスについて、免許を返納した人を対象に半額券を配る、土日も運行する、ルートを変更するなど日常の生活にもっと便利なものにしたい。
  - ・公共交通手段が、もっときめ細かくあれば良い。
  - ・コミュニティバスが進化したコミュニティタクシーを運行する自治体もある。
  - ・タクシー乗車に補助金があるといいのではないか？
  - ・コミュニティバスの便数を増やすなど、もっと頻繁に走らせられないか？ボランティアも募ってできることはないか？
  - ・かつて、子どもを幼稚園に送迎する子育てタクシーがあったと聞いている。
- ※補足：後日確認したところ、全国でいくつかの市町村で運行されており、本市でも運行されている。
- ・都バスでは高齢者は運賃が無料になるらしい。
- ※補足：後日確認したところ、70歳以上の人は20,510円、一定の収入要件を満たす場合は1,000円でシルバーパスを購入することができる。



## 4. 区長報告会について

イメージ

平成29年度 第6回桜区区民会議

(区長との意見交換会)

日時：平成30年2月23日(金)

10時から

場所：桜区役所 3階第1会議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 協議内容の報告
- 3 区長あいさつ
- 4 委員からの感想発表
- 5 その他
- 6 閉会

※閉会后、記念撮影を行います。

## 平成 29 年度 第 5 回 桜区区民会議 議事要旨

日 時：平成 29 年 12 月 22 日（金）10 時 00 分～11 時 30 分

会 場：桜区役所 4 階大会議室

### 出席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 15 名

岩田 明子、榎本 文夫、大江 幸宣、岡島 玲子、小川 宅次、  
小澤 嘉昭、川上 強、小山 春佳、島崎 幸子、高澤 翼、  
長沢 正子、原 綾、福島 謙吉、古屋 静香、渡辺 常雄

[事務局]

桜区コミュニティ課  
コンサルタント

[傍聴者] なし

### 欠席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 5 名

飯塚 洋子、五十嵐 一志、市村 明広、河野 宏、千葉 健太

### 議 事

- 1 開 会
- 2 議 事
  - (1) テーマの協議・意見交換
  - (2) その他
- 3 その他
- 4 閉 会

配付資料： 会議次第

資料 1 / 本日の会議の概要

資料 2 / 協議の進め方について

資料 3 / 前回の協議の概要

資料 4 / 区長報告会について

---

### 1 開 会

欠席者の確認、配付資料の確認を行った。

次に、事務局より、会議の公開、議事要旨の公開について説明があった。また傍聴希望者はいないことの報告があった。

## 2 議 事

### (1) テーマの協議・意見交換

コンサルより、前回会議の内容確認、会議の進め方と協議の方法について説明があった。  
グループの所属メンバーを再編成し、2グループに分かれて意見交換を行った。

<グループ分け>

- A 川上会長、岩田委員、小山委員、福島委員、  
渡辺委員、榎本委員、島崎委員、高澤委員、
- B 長沢副会長、原副会長、古屋委員、岡島委員、  
大江委員、小川委員、小澤委員

### 【分野Ⅱ 防災について協議・意見交換】

- 協議の結果は付箋に記入し、模造紙に貼った。(以下のとおり)
- 各グループでの協議結果は、項目ごとに分類整理し、最後に発表して全員で共有した。

グループAの協議概要(今回の会議で出された主な追加意見)

#### ①危機意識や日常の備え

- ・桜区に遠方から通勤している人は、帰宅難民になる。帰ってくるまでの体験訓練は、いろいろなことに気づく。長距離歩行の大会をしている高校もあるようだが、こういう経験が役に立つ。
- ・埼玉大学には地震の訓練はあるが洪水の訓練はないので必要ではないか。
- ・訓練参加者に救援笛を配るといい。(救助犬の捜索にも有効)
- ・加須市には道路上の電柱に、以前災害で15mまで浸水したという表示がある。
- ・鴨川浸水を想定した訓練も必要だ。
- ・備蓄食料で楽しいイベントを。ある地方では地元用の防災予算があって、いろいろな企画をしている。
- ・まずは、企業主体の訓練からPRしたらどうか。
- ・子どもを重点的に「総合学習」で教育し、子ども会をターゲットにすれば、親も参加する。
- ・緊張感のある訓練内容にしたい。
- ・段ボールでいろいろな避難グッズが作れるなど、関心が持てる内容に。
- ・埼玉大学には、数日の生活物資の備蓄はある。
- ・トイレも実は大問題。
- ・環境センターで防災活動している。訓練にもっと人を呼ぼう。

#### ②避難所・避難体制

- ・防災士が地域にも多くいるので、もっと活用しよう。
- ・マンション内で、居住者が「在宅」か「避難済み」を知らせる表示を広めている。

- ・防災、防犯などは自治会未加入者以外も含めた全員にメリットがある事業に予算を使っているが、防災の取り組みや支援を自治会加入者のみに限定することは現実的には難しい。
- ・いろいろな広報は、自治会の未加入者には配布できない。
- ・防災訓練で、企業協賛でおみやげやグッズを配布したらどうか。
- ・各公民館で防災講座を。

### ③自助・共助

- ・顔見知りになっておいて、いざという時に助けて欲しいと考えている人は意外という。
- ・栄和小学校などで、テントを立てて合同訓練を行ったが、効果的だと思う。実施は、各校の校長先生の方針次第ではあるが。

## グループBの協議概要（今回の会議で出された主な追加意見）

### ①危機意識や日常の備え

- ・自治会で防災訓練を行うが、人が集まらない。どうしたらよいか。回覧板で告知している。
- ・4自治会合同で防災訓練を開催し、100人参加したが半分は子どもだった。子ども会で声掛けして、親子で参加してもらおうようにするといい。
- ・自治会役員が高齢化し、災害の際にリーダーシップをとれるか心配。若い世代が必要。
- ・避難場所を知っている人と、知らない人では気持ちの持ちようが違う。
- ・お互いに助け合う気持ちを持つことが大事。
- ・AEDの設置場所の確認も必要。

### ②避難所・避難体制

- ・自分で避難場所を書き込む用紙を各家庭に配布し、冷蔵庫などに貼れるようにする。自分たちで作る、書くことによって避難時のことを意識することが出来る。シンプルに大きく表示することが大事。
- ・台風で鴨川のポンプが故障で浸水しそうな時に、どこに連絡してよいのか分からず焦った。
- ・鴨川の水位が近年、大雨で急上昇するのは川底に土砂などの堆積物が多くなり浅くなっているからではないか。浚渫<sup>しゅんせつ</sup>工事をしたほうがよいと思う。
- ・避難の際に、ペットをどうするか。避難場所にペットの居場所がない。
- ・地域の避難場所である埼玉大学は、地震の際は液状化の心配があり、水害の際には水没する心配がある、どうしたらよいか。高層マンションの住民などは、とどまる方が安全かもしれない。
- ・避難所のチラシを自治会の回覧板で回しても、取らない人がいるし、回覧板自体がなかなか回ってこないことがある。各戸に配るのが良い。
- ・普段からのコミュニケーションが大事。日頃からあいさつするよう心がけている。役所からの配布物を届けつつ、コミュニケーションを図る。
- ・避難場所の周知の際などに、子ども、高齢者への気配り、ケアを草の根運動的に行っていく。

日頃のコミュニケーションを積み重ねていく。

- ・マンガ、アニメで防災意識を高める。

### ③自助・共助

- ・ゴミ当番が嫌、班長をやりたくないなどの理由で、自治会に加入しない若いファミリーが多い。ゴミが捨てられるかどうかということだけでなく、自治会の活動を理解して加入してほしい。
- ・地域の見守りも自治会、班長の役割。助け合えるメリットがあることをPRする。
- ・火災の際に隣近所に助けられたことをきっかけに、自治会に加入した人もいる。
- ・夏祭りのお菓子配りは、自治会加入に関係なく、子ども達に配ってはいるが…。子ども会も無くなりつつある。
- ・高齢者をいざという時に助けられるように、普段から顔を知っておくことが大事。
- ・ゴミゼロ運動を行うときに、防災、防犯についても必ず話をするようにしている。
- ・助け合い運動を。防災パトロールの際に、高齢者宅に異変がないかチェックする。高齢者などの名簿が作れないのが不便で困る。
- ・鴨川が決壊すると、桜区役所が危険なのは。区役所の備蓄品は、水害に備えて、地下ではない階上フロアへ移した方がよいのでは。

## (2) その他

- ・渡辺委員より、災害伝言ダイヤル171の情報提供があった。
- ・小澤委員より、さいたま桜高等学園「カフェ桜家」のPRがあった。

## 3 その他

事務局より、「第47回桜区ロビーコンサート」、「さくらコンサート2018」及び「桜区サクラソウ講習会」の案内と、次回会議について平成30年2月23日（金）10時から、3階第1会議室にて開催する旨の連絡があった。

## 4 閉会

以上